

2018年2月9日

草の根・人間の安全保障無償資金協力（グレナダ）
フェイスコミュニティ教会における多目的センター建設計画に関する署名式

2月6日、グレナダ、セントジョージ市内、教育人材開発省にて、草の根・人間安全保障無償資金協力「フェイスコミュニティ教会における多目的センター建設計画」の署名式が行われました。被供与団体であるフェイスコミュニティ教会は、日本政府の供与額86,026米ドルの無償資金を利用し、ラ・モード地区にて幼稚園及び職業訓練センターとして使用される多目的センターの建設を行います。

本式典には、グレナダ日本国大使館（在トリニダード・トバゴ日本大使館が兼轄）の岡田光彦大使及びマドリン・ジェイムス教会代表管理者、トビアス・クレメント北東選挙区議員、エルビス・モーラン人材開発省教育長、ジャシント・ジョセフ人材開発省書記官、並びに他の招待客、受益者の出席の下、実施されました。

岡田光彦大使は、挨拶の中でフェイスコミュニティ教会が若年層に対する教育及び社会サービスの提供に貢献すると述べた上で、コミュニティ開発ニーズに対応する上で非政府組織及び地方自治体の協力が重要であることを強調しました。また、エルビス・モーラン教育長は、日本政府に感謝の意を表し、これらの無償資金がグレナダの将来の発展に必要な投資であると述べました。

日本国政府は、今後とも両国の友好関係と相互理解を深めていくため、様々な分野でグレナダに対する開発支援を実施していきたいと考えています。

（了）



岡田光彦大使によるスピーチ



マドリン・ジェームス教会代表管理者によるスピーチ



トビアス・クレメント議会代表によるスピーチ



マドリン・ジェームス教会代表管理者(左)と
岡田光彦大使(右) 握手の様子



(左—右): アンドリュー・ジェームス牧師; エルビス・モーラン教育長; ジャシント・ジョセフ書記官;
トビアス・クレメント議員; 岡田光彦大使; マドリン・ジェーム氏; サムエル・ドレイク氏; 岡田真理大使夫人